

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：労働費 項：職業訓練費 目：職業訓練校費

### 事業名 ものづくり外国人育成事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部労働雇用課職業能力開発係 電話番号：058-272-1111(内3126)

E-mail：c11367@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,910 千円 (前年度予算額：1,910 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,910	955	0	0	0	0	0	0	955
要求額	1,910	955	0	0	0	0	0	0	955
決定額	1,910	955	0	0	0	0	0	0	955

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

少子化の進展ともものづくり産業を中心に人手不足が深刻化する中で、今後の産業人材として外国人の活躍が期待されてきている。

当校に入学する定住外国人や留学生は、県内就職の希望が強い傾向があるが、県内企業に就職し、現場の即戦力として活躍するには、日本語力の向上がより望まれる。

このため、授業時の通訳による日本語支援や、就職を見据え日本語力を向上させる日本語講習会を行っていく。

### (2) 事業内容

#### ■通訳による支援

日本語力に課題がある外国人に対し、国際たくみアカデミー生産技術科、設備システム科、住宅建築科における日本語サポートを行い、職業訓練を修了させ、県内企業へ就労支援する。

・言語の種類：タガログ語(予定) 新規定住者のフィリピン人が多いため。

ベトナム語(予定) 外国人留学生はベトナム人が多いため。

・時間：472時間

うち282時間は国際交流課及び国際交流センター交流員の派遣(旅費のみ)により対応。

#### ■日本語講習会

外国人の日本語力を向上させ、円滑の県内企業に入社できるように「日本語教育」を週1回程度実施する。日本語に課題がある定住外国人及び留学生に出席させ、日本語検定2級以上(企業が求めるレベル)の取得を目指して講習会を実施する。

・時間：192時間

(3) 県負担・補助率の考え方

地方創生推進交付金充当（補助対象経費の1/2補助）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,148	外国語支援員謝金 190時間×2,000円=380,000円 日本語授業講師謝金 192時間×4,000円=768,000円
旅費	428	外国語支援員費用弁償 美濃加茂－美濃加茂 69日×259円=17,871円 岐阜－美濃加茂 24日×2,331円=55,944円 神戸町－美濃加茂 15日×3,293円=49,395円 日本語授業講師費用弁償 岐阜－美濃加茂 130日×2,331円=303,030円
消耗品費	54	教材、資料コピー代、紙、マジック、付箋等
役務費	280	電話代、郵送料 30,000 翻訳料 @10,000*25枚=250,000
合計	1,910	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「第10次岐阜県職業能力開発」（平成28年度策定）
  - 第4 職業能力開発の基本的施策
    - 3 産業界のニーズに対応した人材育成
      - (1) 製造業における体系的な人材育成の推進

(2) 後年度の財政負担

- ・事業実施後のヒアリングや企業のニーズ等を参考に、毎年見直していく。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国際たくみアカデミーへ入校する日本語力に課題がある外国人生徒に対し日本語を支援しながら職業訓練を実施することにより、即戦力となる人材を養成し、県の産業界に輩出する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名： 定員充足率	事業開始前 (H29)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
日本語力に課題がある外国人(受験者)	1(6)	15(24)	10	10	(毎年度) 10	150%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。 日本語力に課題がある外国人留学生の日本語力向上を図った（15名）。</li> </ul>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	令和3年度の外国人入学生が令和2年度と比べ約1.5倍に増加したことから、就職において県内企業から求められる即戦力人材となるためには日本語能力の向上を図ることはより重要となっている。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和2年度の外国人留学生の就職率が100%であり、目標通り岐阜県の製造業等への人材輩出が行えた。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	日本語能力試験について1級・2級を目指す外国人留学生が増加しており、より日本語能力の高い技術者を岐阜県の製造業等へ輩出できるようになっている。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 様々な言語に対応するための通訳・講師確保を関係各所と連携して行う必要がある。
--

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 社会経済や産業構造の変化、モノづくり企業のニーズに応じ、事業実施後のアンケート調査や企業ニーズ等を参考に、毎年見直していく。
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"><li>取組内容と成果を記載してください。</li></ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li></ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"><li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li></ul>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"><li>事業が直面する課題や改善が必要な事項</li></ul>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"><li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li></ul>
---